

横浜市旭区地域子育て支援拠点運営法人選考委員会 第2回委員会会議録	
日 時	平成31年1月18日(金) 午前10時00分～午後12時00分
開催場所	旭区役所 本館1階5号会議室
出席者	委員：大豆生田啓友(委員長)、山岸弘樹(委員長職務代理者)、池田宏史、入江ゆきよ、岩崎多恵子、齊藤由紀子、通木光男、峰松雅子 事務局：【旭区】小磯行生、田口香苗、佐々木結花、鋪歆奈、川又律子、千田明香 【こども青少年局】成田萌子
欠席者	なし
開催形態	非公開
議 題	1 評価・選定の進め方について 2 応募法人によるプレゼンテーション及び質疑 3 応募法人の審査及び評価 4 評価の集計結果報告と本委員会での決定事項の確認
決定事項	特定非営利活動法人「子そだちしえん・あさひ」を、旭区地域子育て支援拠点「ひなたぼっこ」の第3期運営法人として、旭区(旭区入札参加資格・指名業者選定委員会)に報告する。
議 事	<p>1 評価・選考の進め方について ・事務局から説明</p> <p>2 応募法人によるプレゼンテーション及び質疑 ・応募法人のプレゼンテーション (質 疑)</p> <p>委 員： SNSをもっと積極的に利用したり、QRコード等を活用したりしてほしい。</p> <p>法 人： 個人情報が出ないことを最優先に実施したいと考えている。フェイスブックやアプリの利用も考えている。</p> <p>委 員： ホームページは「ひなたぼっこ」だけでなく、「サロン」にもリンクできるようにしてほしい。</p> <p>法 人： 現在もリンクしているがわかりにくい。ホームページをリニューアル予定なのでその中で改善したい。</p> <p>委 員： 「あひるクラブ」を初めて聞いた。「あひるクラブ」等障害児に対する支援に関し、もっと地域に広げてほしい。既存の施設は交通の便が悪いこともあり行きにくい。</p> <p>委 員： 悩みを共有して、連携できないか？ひとり親に対するフォローを行ってほしい。状況に応じて地域の子育てサロンに出張してもらえるとありがたい。</p> <p>委 員： 「地域と連携をして」とは、どのような形で地域と共有しているのか？</p> <p>法 人： 地域の子育て支援支え合い連絡会におじゃまして、一緒になって地域の困りごとを聞いている。ケアプラのコーディネーターがパイプ役となり、各地域の情報を集約しながら拠点で出来ることを地域の人にお伝えしています。何回も場を設けながら不安解消をはかるよう取組を検討している。</p> <p>委 員： 居場所とどのような連携をしているか？既にしっかりとした、出来上がっているものもある。そういうものや経験のある方々と連携し合ってほしい。</p> <p>法 人： 経験のある地域の方と交流を持たせていただいて、教えていただいたり、お話をお伺いしたりしています。</p> <p>委 員： 子どもとどう接したらいいか困っている人等にはどういう話をしているか。相談に乗っているか。</p>

	<p> 法人： 基本の生活・母親の関わり方等話し合う中で、母親自身が解決策を みつけられればいいのですが、そうでない場合は専門機関につなげ ます。 委員： 採用に関してはどうしているか。 法人： 子育て経験と、資格の双方を有する人を公募しています。 委員： 親子が集う場所として、来所者は多いと考えているか。初めて来る 人は継続的につながっているのか。その人たちへの工夫はあるか。 法人： 多いと考えている。初めての人は目を掛け、声掛けをし、ひなたぼ っこに来園し辛そうな人に対しても、地域のネットワークを利用して フォローの必要な人の伝達をしている。 委員： 保育ボランティアに対してはどう考えているか。小さな子どもが いて、地域活動をする際に利用したい人もいる。 法人： 子育てサポートシステムを見ても提供会員が少ない。保育に関して 子サポでマッチングしない提供会員のグループをつくるという対応 策を考えている。 </p> <p> 3 応募法人の審査及び評価 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明 ・委員による書類評価 ・事務局による集計、集計結果の発表 </p> <p> 4 評価の集計結果報告と本委員会での決定事項の確認 </p> <p style="text-align: right;">午後12時00分閉会</p>
<p> 資料 ・ 特記事項 </p>	<p> 1 資料 応募法人の財務分析結果、選定委員会から区への報告様式 2 特記事項 なし </p>